

## 我が家の避難先

※危険だと判断したら、違う場所に向かってください

### 一時避難場所（安否確認する場所）

|       |       |
|-------|-------|
| 地震の場合 | 水害の場合 |
|-------|-------|

### 地域の避難所

|       |       |
|-------|-------|
| 地震の場合 | 水害の場合 |
|-------|-------|

### 家族の集合場所 ※メモなどを残す場所でも構いません

|  |
|--|
|  |
|--|

## 我が家の緊急連絡先

| 名前 | 連絡先 | 学校・会社などの名前と連絡先 | 学校・会社などの避難所 |
|----|-----|----------------|-------------|
|    |     |                |             |
|    |     |                |             |
|    |     |                |             |
|    |     |                |             |
|    |     |                |             |
|    |     |                |             |
|    |     |                |             |

## 非常持出品

置き場所

※男性 15kg、女性 10kgまでが目安です

### 飲料水・食品

|                              |                                 |
|------------------------------|---------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 飲料水 | <input type="checkbox"/> 補助栄養食品 |
| <input type="checkbox"/> 非常食 | <input type="checkbox"/> _____  |

### 貴重品

|                                         |                                |
|-----------------------------------------|--------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 現金、預金通帳・印鑑     | <input type="checkbox"/> _____ |
| <input type="checkbox"/> マイナンバーカード、お薬手帳 |                                |

### 生活用品

|                                      |                                    |
|--------------------------------------|------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 懐中電灯、充電器    | <input type="checkbox"/> 救急セット、常備薬 |
| <input type="checkbox"/> ヘルメット、軍手    | <input type="checkbox"/> _____     |
| <input type="checkbox"/> マスク、タオル、防寒具 | <input type="checkbox"/> _____     |

## 非常備蓄品

置き場所

※3～7日分の備蓄に努めましょう

### 飲料水・食料

|                              |                                  |
|------------------------------|----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 飲料水 | <input type="checkbox"/> 調理器具、食器 |
| <input type="checkbox"/> 食料  | <input type="checkbox"/> _____   |

### 生活用品

|                                         |                                |
|-----------------------------------------|--------------------------------|
| <input type="checkbox"/> テント、寝袋、マット     | <input type="checkbox"/> _____ |
| <input type="checkbox"/> 洗面用具           | <input type="checkbox"/> _____ |
| <input type="checkbox"/> 簡易トイレ、トイレトペーパー |                                |



### シート作成手順



申・問 災害・防災に関すること／危機管理課 TEL (33)4192・FAX (33)4193  
建築物に関すること／建築課 TEL (36)5544・FAX (36)5595

災害時の行動は地震と水害で違います。4ページにある災害時行動タイムラインのとおり、地震の場合は発生後、すぐに身を守ることや、速やかに避難することが求められます。



皆さんは災害時、家族でどのように行動するか決めていますか。災害はいつ、どこで発生するか分かりません。いざという時のために、家族が取る行動、連絡先などの情報を、普段から家族内で共有しましょう。

今回の特集では、安土町常楽寺在住の南さん一家にご協力をお願いし、実際に災害時行動確認シートを作成してもらいました。

**ステップ 1** 南さん一家には、まず住んでいる家の地震や水害リスクを調べてもらいました。「結構揺れるな」とじっと地図を見る一家の横顔からは、真剣さが伝わります。

避難先が決まったら、避難先だけでなく避難経路の地震・水害リスクも確認してください。被災し通れなくなることも想定し、複数の経路を事前に考えておきましょう。また、別々の避難所に避難し、かつ携帯電話などが不通となった時のために、最終的な家族の集合場所を決めておくことが大切です。

**ステップ 2** 次に、自治会や市で決められている避難先を確認してもらい、長女・琴梨さんにシートを書いてもらいました。地震と水害では避難先が異なり、驚く一家。避難経路は「細い路地に入ると危ない」という祖父・一男さんの助言もあり、メイの避難経路は大通りとすることにしました。

避難先が決まったら、避難先だけでなく避難経路の地震・水害リスクも確認してください。被災し通れなくなることも想定し、複数の経路を事前に考えておきましょう。また、別々の避難所に避難し、かつ携帯電話などが不通となった時のために、最終的な家族の集合場所を決めておくことが大切です。

**ステップ 3** 続いて、家族の緊急連絡先を書いてもらいました。しかし、「県外に暮らす息子や、勤務中の母が避難する場所が分からない」と改めて気付かれたそう。すぐに調べると話してくれました。

自分や家族が家に居るときに被災するとは限りません。しかし、どこで被災したとしても、お互いにどこにいるのかが分かれば、情報が手に入ったとき、推測を立てることができ、次の行動に移ることができます。

(5ページに続く)



シートを書く琴梨さんと、見つめる呼花さん

## 災害時に役立つサイト・SNSなど

### 事前に登録しておくで便利

#### 市公式 LINE

平時は配信希望項目から受け取る情報を選択できますが、災害発生時は全員に情報が発信されます。右記二次元コードから登録してください。



#### しらせる滋賀情報サービス

・しらしがメール  
login@pref-shiga-info.mailio.jp  
に空メールを送信してください。

・しらしが LINE  
右記二次元コードから登録してください。



### 情報収集に役立つ

#### Yahoo 防災速報アプリ

事前登録しておくで、防災情報などがプッシュ通知で届くほか、個人に合わせた地域やタイムラインの設定もできます。

#### 市ホームページ

災害発生時は、トップ画面に「重要なお知らせ」として、可能な範囲で最新の情報を掲載します。

#### 防災情報などの各種リンク

県ポータルサイトやロードマップなど、市以外の防災情報サイトのリンク先が掲載されています。



### 家族・知人に安心を

#### NTT 災害用伝言ダイヤル「171」

災害の発生で通信が増加し、つながりにくい状況になった場合に提供が開始される声の伝言板です。「171」をダイヤルし、利用ガイダンスに従って操作すると、伝言の録音・再生ができます。携帯電話番号でも利用可能です。

#### LINE 安否確認

大規模な災害が発生した時、自身の安否状況を友だちに知らせたり、友だちの安否状況を確認したりすることができる機能です。災害発生時にホームタブ上に表示されます。





## 南さん一家にインタビュー！

### 琴梨さん（長女・中3）



住んでいる家の水害や地震のリスクが知れてよかったです。いざという時のために、逃げるところを決めておくことや、荷物をまとめておくこと、頭の片隅に避難行動の意識を常に置いて、「この道は危なそう」と考えることが重要だと思いました。被災した時に一人でも多くの命が助かるために、みんなにも家族で事前の準備をしてほしいです。

### 康弘さん（父・48歳）



避難場所やルートなどを家族で共有できて有意義でした。これからはニュースや天気予報などさまざまな情報にアンテナを張って、防災・減災に務めるほか、家族に必要なものや備蓄品などを選定していきたいです。日頃から家族で考えることで、有事にそれぞれが適切な行動が取れると思います。今回はそれを考えるきっかけになりました。

## 南さん一家のオリジナルシート完成！



呼花さん（次女・小5）

最後は、非常持出品や非常備蓄品を考えてもらいました。父・康弘さんは防災士。「軍手より革手袋がいい」「ヘッドライトは両手が空いて便利」と、家族の持出品を率先して考えていました。

そして、約1時間でシートが完成！これからも家族の状況に合わせてアップデートしつつ、災害に備えてくださいな。ご協力ありがとうございました！

皆さんも家族で「災害時どうする会議」を開催し、情報を共有して災害時に備えませんか。3・4ページを切り取ったり、コピーしたりして、いつも持ち歩けるようにしましょう。他にも、市では下記のような防災・減災のための補助やセミナーを行っています。ぜひ活用してください。



家族によって必要なものはさまざま。災害時に慌てないよう、貴重品を除いて、普段からまとめておきましょう。また食料は個人の好みやアレルギーに大きく左右されます。普段から食べ慣れているものを備蓄したり、たまに夕食を非常食に置き換えて、家族の意見を反映させるなど、被災時にストレスを減らせるように準備することがおすすめです。しかし、本当に急いで家を離れなければいけない時や、置いてある場所が危険だと判断した時は、「命が一番」です。無理に取りに行かないようにしましょう。

## 市の補助金・セミナーなど

### ▶ 耐震シェルター HP 20341

木造住宅への耐震シェルターや防犯ベッドの設置費用の一部を補助します。

**対象** 昭和56年以前に建築されたもので、震災時に倒壊する可能性が高いと診断された木造住宅

**補助額** 上限20万円  
**申し込み先** 危機管理課

### ▶ R6耐震セミナー

耐震の講演やパネルディスカッション、補助制度の説明などを行います。

**日時** 10月20日（日）午後1時～  
**場所** ひまわり館 事前申込不要  
**問い合わせ先** 建築課

### ▶ 感震ブレーカー HP 19551

感震ブレーカーなどの購入・設置費用の一部を補助します。

**対象** 市内に住所を有し、次のいずれかに該当する世帯

- ・65歳以上の人のみの世帯
- ・市避難行動要支援者制度の対象者がいる世帯

**補助額** 費用の4分の3（上限3万円）  
**申し込み先** 危機管理課

### ▶ 出前講座 HP 8522

災害時の役割分担や心構え、避難所の開設・運営、施設での避難誘導方法など、対象団体の希望に合わせて講座を開きます。

**対象** 自治会や老人会などの市内団体、学校、事業所、法人  
**申し込み先** 危機管理課



**感震ブレーカー（内蔵型）**  
一定の揺れを感知すると電気の供給を遮断します。通電火災を防ぐために有効です。

### ▶ その他

ほかにも危険なブロック塀の解体（HP 20543）や木造住宅の耐震診断、耐震改修工事（HP 20503）などに補助金があります。詳しくは市ホームページをご覧ください。

## 災害時行動タイムライン

### 地震の場合

#### 揺れから身を守る

- ・机の下などに入って身の安全を確保



#### 安全確保・避難経路の確保



- ・揺れが収まったら、ガスや火を止め、ブレーカーを落とす



- ・建物の出入口など避難経路を確保

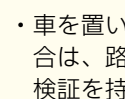
#### 速やかに避難



- ・非常持出品を手元集める（無理はしない）
- ・家族や近所の人と声をかけ合い避難
- ・避難行動要支援者（右※参照）への支援もできる限りご協力ください



- ・道路のひび割れや、落下物の飛散に注意して避難



- ・車を置いて避難する場合は、路肩に寄せ、車検証を持ち、鍵はつけたまま逃げましょう

#### 一時避難場所待機・安否確認



- ・一時避難場所の危険性を確認し、安全であれば待機
- ・地域住民の安否確認

0分～数分後  
地震発生から揺れがおさまるまで

数分後～数十分  
揺れがおさまったら、できるだけ早く

安全が確保できるまで

### 水害の場合

#### 情報収集



- ・自身が居る場所の情報を確認

#### いつでも避難ができるよう準備

- ・3～7日間の生活ができる物資や貴重品などを準備
- ・避難経路も確認



#### 各自の判断で避難



- ・学区コミュニティセンターを避難所として開設
- ・危険を感じた人や、高齢者や障がい者など避難に時間を要する人は、早めに避難
- ※自力で避難することが難しい人のために、市では地域の助け合い制度である「避難行動要支援者支援制度」を策定しています。詳しくは（HP 19737）をご覧ください。



#### 速やかに避難



- ・上記以外の避難所も開設
- ・該当地域の人は速やかに避難を開始
- ・避難するほうが危険であれば、2階以上の高層階へ逃げましょう

#### ここまで必ず避難！

#### 緊急安全確保



- ・災害の発生、または切迫を把握した時に、市が可能な範囲で発令
- ・身の安全が確保できる場所に直ちに移動

#### 安全が確保されたら

#### 地域の避難所で安否確認



パニックにならないよう、必要な情報を確認して家族や知人の安否を報告。着ていた服、その時居た場所などを詳しく伝えることで、その後の救助・捜索活動がスムーズに進むことがあります。

#### 救出活動や学区コミュニティセンター（災害現地本部）と情報共有



地域で協力し、捜索や救出活動を実施するとともに、自治会単位で地域内の被害状況や安否情報を報告。

#### 自宅の被災状況を確認・記録

避難所から自宅に帰って状態を確認。り災証明や保険金請求のため、写真に残しましょう。その後、右記①～④の避難生活に移ります。

#### 被害なし、または軽微

①帰宅、または在宅避難



#### 被災して住めない

②知人・親戚宅へ避難



③避難所で継続避難



④宿泊施設利用など



余震や土砂災害などの二次災害の危険が高まれば、避難指示が出されます。その際は速やかに避難してください。